

2012（平成24）年度

第5回通常総会 議案書

日 時 2013年8月25日（日） 10:30 ～ 12:00

場 所 豊田産業文化センター41 会議室（豊田市小坂本町1丁目25）

通常総会 次第

1. 開会のあいさつ
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選出
4. 定足数の確認
5. 議案の審議 ページ数

【審議事項】	第1号議案	2012年度事業報告（案）	1
	第2号議案	2012年度収支決算（案）	17
	第3号議案	役員の改選について	22
- 【報告事項】

1	2013年度事業計画	23
2	2013年度収支予算	30
6. 議長解任
7. 閉会

年度期間

2012年度：2012年6月～2013年5月

2013年度：2013年6月～2014年5月

平成表記の年度は4月～3月をしめす

審議事項

第1号議案 2012年度事業報告 (期間 2012年6月1日から2013年5月31日まで)

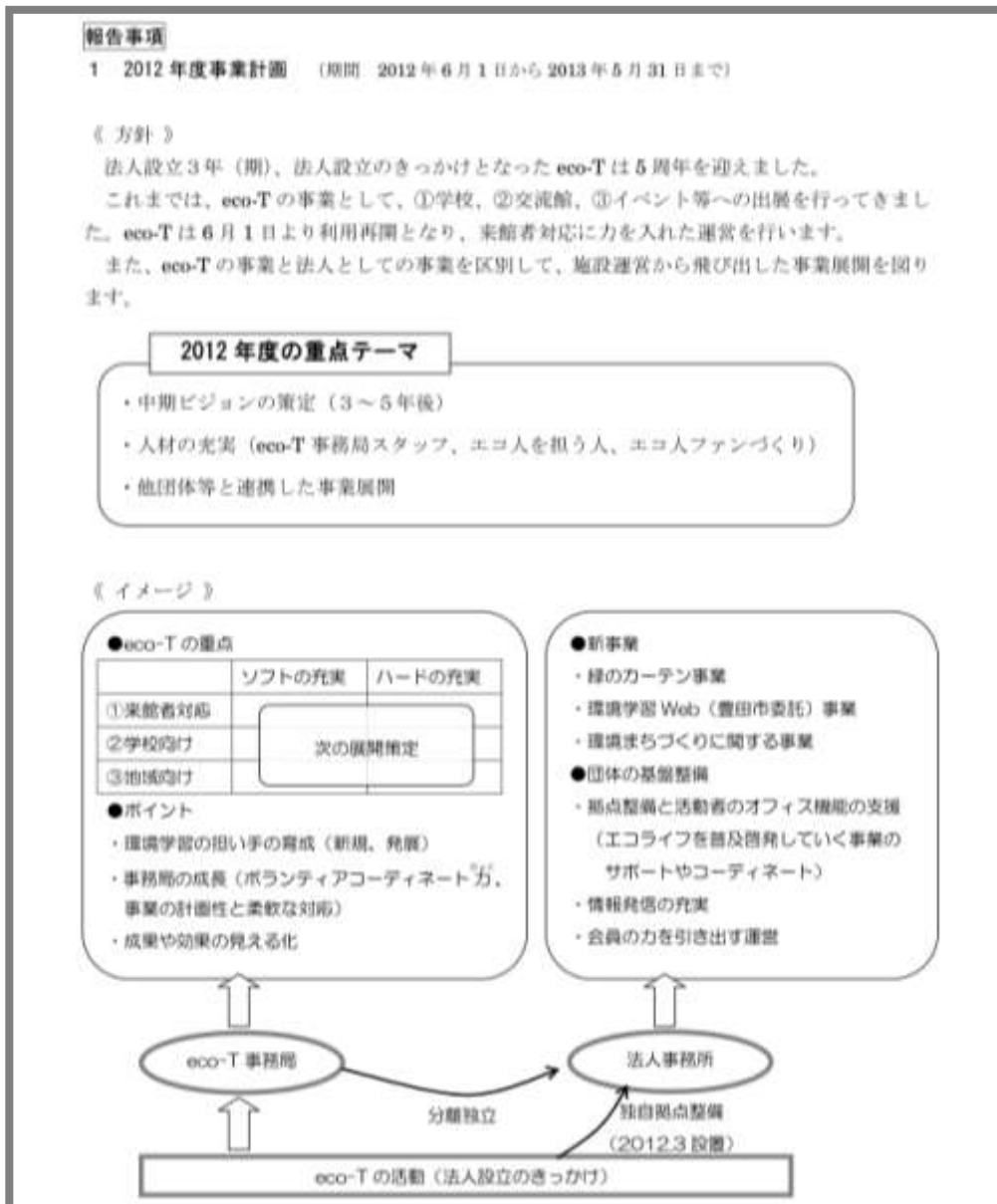
【概要】

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト(以下、当会)は、豊田市環境学習施設 eco-T(以下、エコット)で活動する市民が中心となって、参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会(エコライフとよた)の実現に寄与することを目的に、2009年3月19日に法人登記されました。

2011年4月からはエコットの運営を特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会に変わって、豊田市から受託しました。また2012年4月からは、市民参画メンバー、インタープリター、エコット事務局のパート・職員を経て、豊田市出身者がエコットの統括責任者を担うまでになりました。同時に、当会事務所を設置して新規事業部をスタートさせ、新たな展開を試み、団体としてのミッションやビジョンを構築し、新たな事業展開をする年でした。

設立4年目に当たる2012年度の当初計画と評価をまとめます。

《計画》



(昨年の総会資料 P23 より)

《結果》

1. 大きな方針

①eco-Tは、6月1日より利用再開となり、来館者対応に力を入れた運営を行う

旧清掃工場解体工事の延期ならびに跡地整備の影響で、2013年3月まで入館制限や駐車場の利用制限がありました。その影響で、年間来場者は16,916人（平成24年度：2012年4月～2013年3月）と旧清掃工場解体工事中（平成23年度）を除くと、開館初年度の次に来館者数が少ない年となりました。したがって、来館者対応に力を入れ始めた段階で、評価できるまで至っていません。

なお、跡地整備が終了した2013年4月からは駐車場も広くなり、施設利用や来館を促すような土日の催事なども行い、徐々に回復に向かいつつあります。また、施設利用に関しては、すでに予約がいっぱいで利用を断る場合も多く、2013年9月よりワークショップルームの分割などの利用促進を予定しています。

ただし、小中学校向け出前講座は、33校101回、イベント出展は35回と来館できないぶん、出張する形で環境学習事業を展開しました。

②事務所を設置し、eco-Tの施設運営から飛び出した事業展開を図る

これまでエコット内では働きかけにくかった事業を展開しました。

代表的な事業として、①小規模事業者向けの節電・省エネ（CO₂削減）事業、②環境基本計画後期重点プロジェクトの勉強会、③農山村の魅力を中心市街地で発信するイベント「いなかとまちの文化祭」などです。（詳細は本編をご覧ください）

収益につながる事業は少なく、連携した事業は予算も人手も乏しく、本格的な事業展開には至りませんでした。事務所は、環境まちづくりの拠点としての期待を感じる年となりました。

2. 2012年度重点テーマ

①中期ビジョンの策定（3～5年後）

2011年4月より、設立当初より目標であったエコットの運営を担い、無事に1年間終了することができました。そこで、当会の次のビジョンを策定することを重点テーマとして掲げました。

しかしながら、多忙な業務の中ビジョンを話し合う都合が合わずビジョン策定はできませんでした。

②人材の充実（eco-T事務局スタッフ、エコ人を担う人、エコ人ファンづくり）

2011年4月よりeco-Tの体制を見直し、eco-Tと新規事業部を区分した運営を行ってきました。また、出産や家族の転勤など余儀なく退職をするスタッフが現れ、スタッフの育成は行えませんでした。

また、新たな事業を試みた機会ごとに、会員募集、寄付金募集を行った結果、特に賛助会員を増やすことができました。

③他団体等と連携した事業展開

当会のこれまでの活動がかわれて下記のような事業展開をはかることができました。

〔eco-T〕

- ・トヨタEX会弁論大会キッズコーナー（カバハウス）
- ・豊田市次世代育成課スマイル085（おやこ）の日イベント（市民文化会館）

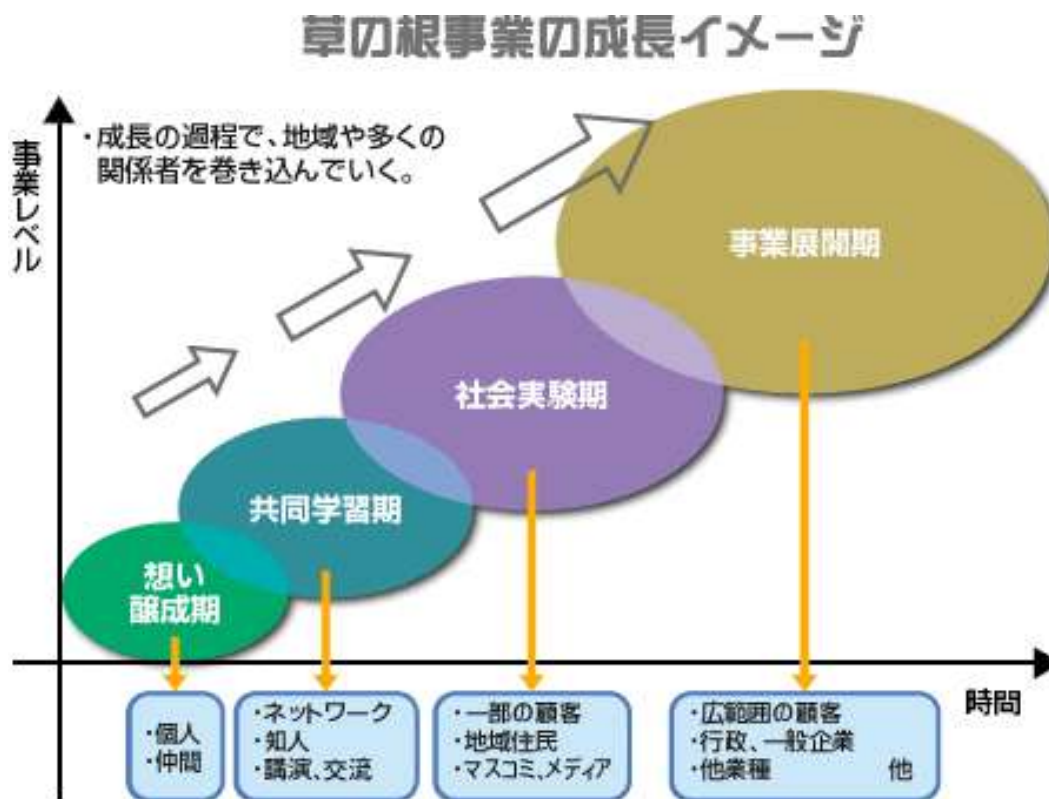
- ・ 社会福祉法人オンリーワンまつり（大学生のころにボランティアで手伝ってくれた方のお誘い）
- ・ みちナビとよた親子わくわく教室
- ・ 東邦ガスガスエネルギー館（eco-T の運営、特にスタッフの対応や来館者の案内を参考にした施設）

〔新規事業部〕

- ・ いなかとまちの文化祭
- ・ 豊田市との連携、協力（環境基本計画・ESD の勉強会・市職員研修）
- ・ とよた・あいち省エネで元気な事業コンソーシアム（継続）

以上が概要になります。

参考に、草の根事業の成長イメージは、図の4つの事象に整理されますが、2012 年度当初は「社会実験期」を経て「事業展開期」へ踏みだそうとしていましたが、結果、新規事業部の「思い醸成期」を十分に経てないままの事業展開を試みていたのではないかという反省が生まれました。



出典：コミュニティビジネスガイドブック
（発行：NPO 法人起業支援ネット）

次項以降に詳細を記述します。

【事業活動】

1. 環境学習事業

(1) 環境学習講座の実施

環境学習を実施しようとしている団体向けに、各種の講座を実施しました。要請先との打合せから講座の企画、準備、市民講師（インタープリター）、専門家との調整や派遣を行いました。

当初計画では、「メニューの充実と講師の育成、さらに学習コーディネーターの関わりについて検討する」とありましたが、eco-T のインタープリターのスキルアップ講座を開催した以外は実施できませんでした。

〔当初計画〕

対象	目標	結果	達成率
小・中学校、高校・大学、企業、こども会、自治区・サークル、行政など、環境学習を実施しようとしている各種団体	eco-T 業務 25 件	103 件	412%
	eco-T 以外 5 件	6 件	100%

〔結 果〕

①eco-T の運営を通して実施した環境学習講座（出前講座および学校特別対応、視察研修対応）

交流館などからの出前講師の依頼増加が予想されるため、メニュー一覧を作り、講師派遣を受けやすい体制を作りました。学校向けは、先生の授業の中でワンポイントだけ話をする「ゲスト形式」は初めてのチャレンジ。とよたエコライフ倶楽部の出前講座との連携を継続して模索中です。愛知県地球温暖化防止活動推進センターの講師に 15 名、ごみ減量推進課の出前講座への講師に 14 名が登録しました。

今後は、eco-T で活動しているインタープリターが他団体主催の講師も担うことが期待されます。

区分	主な内容	講座数	参加人数
小学校（4 年生向け）	くらしの環境学習推進校（公共施設見学を充実させるための出前授業）、4 年生後期に発展学習を目的とした出前授業	14 校 (31 授業)	844
小学校（5, 6 年向け）	4 年生以外の学年に環境学習を広げるための出前授業（エネルギーダイエット、愛・シンパシー、買い物）	6 校 (8 授業)	152
小学校（3 年生向け）	4 年生の「ごみの処理と利用」の学習への導入を目的とした出前授業	9 校 (24 授業)	674
学校特別対応	市外、県外からの見学対応、学校エコ改修、アイシン環境学習プログラムとの連携、ゲストティーチャーなど様々な要望に対応した	14 校	1,271
教職員関係者	初任者研修、職場体験受入	2	121
大学	共働、市民参画について、展示室の見学	3	44
海外 (アジア実習生他)	見学と展示学習プログラム	10	187
企業	eco-T 見学、環境問題とは、意見交換	2	62
その他（大人向け）	eco-T 見学、施設運営、市民活動、意見交換	9	190

合計 69 団体 103 回 3,545 人

②エコ人が直接実施（eco-T 以外）した出前講座

回	開催日	派遣先	概要	参加人数
1	6/7 (木) 13:20~ 14:50	愛知学泉大学現代マネジメント学部1年生	「現代社会の課題」のひとつとして、豊田市の環境、市民参画、市民活動にかかわる資金について講義	100
2	9/5 (水) ~7 (金)	地域再生実践塾	「共働提案制度を活用した取組み」と題した事例紹介に加えて、市民参画によるエコットの運営や環境市民活動の現状を講演。エコットには視察も。また研修期間中はホスト役のメイン講師のサポートを務める	150
3	9/13 (木) 13:00~ 15:00	豊田市職員研修「住民とのパートナーシップ」	市民活動団体の活動事例として、エコ人の活動を紹介	31
4	2/6 (水) 11:45~ 12:30	豊田市職員研修「市民活動を知るバスツアー」	市民活動の現場を訪問する市職員向けの研修会で、事務所を訪問。設立の経過や活動状況、事務所を設置する背景など Cafe Musu.B のランチボックスを食べながら話題提供	15
5	3/28 (木) 13:00~ 17:00	大阪産業大学生活環境学科 講師視察研修コーディネーター・案内	豊田市の運営に特徴のある環境学習施設の視察をコーディネートし、当日案内も務める。	1
6	4/30 (火) 13:40~ 15:30	豊田市藤岡南中学校 ESD ワークショップ ファシリテーター補助派遣	世界フェアトレード・デー・なごや2013 で発表する生徒に「宇宙船地球号」のアクティビティを実施。ファシリテーター補助を派遣するとともに、当日手伝いを紹介。	90

合計 6回 387人

(2) 環境学習を推進する人材の育成

eco-T のインタープリターや学習コーディネーター、ボランティア活動の担い手を育成しました。また、今年度は新たに、豊田市環境学習サイト「hibico」の記事のインタビュアー兼ライターの育成をOJT方式で3名行いました。

学習会や研修、実際の活動を通じて、様々な形でレベルアップを図りました。

項目	予定	計画・方針	実施内容
インタープリテーションの充実 (技術向上)	学習会の開催(支援)やうまく活用されていない既存展示学習プログラムの活用に向けた、学習グッズやマニュアルの改訂	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師から「興味を引き出し、気づきを促す案内」を重点テーマとした研修。 展示学習プログラムを毎年更新し、新たなプログラムを習得するための学習会がインタープリター中心で開催できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えるコツを学ぼう：井藤伸比古先生 おもてなし研修：坪内恵津子先生 インタープリテーション：トヨタの森
インタープリター育成(マンパワー充実)	<ul style="list-style-type: none"> 展示解説や出前講座を担う人材の育成 ジュニアインタープリター育成(家族や友達に自分の言葉で伝えられる子どもを育成する) 	<ul style="list-style-type: none"> 第7期生の育成講座(全6回) 連続的な講座(全6回)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 9名が受講し、6名が登録した。4月より活躍中。 5名が受講。最終回は、親を招待してエコパーティを開催。
学習コーディネーターステップアップ	学校や交流館などの学習事業企画者の要望を聞きプログラムを作成し、市民講師(インタープリターなど)との橋渡しをする人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> メイン担当が継続して活動していることと、経験交流会やプログラム検討会などを開催することで、学習コーディネーター同志の学びあいができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明会、学習会：4回 推進事業評価会：1回 基本プログラムのブラッシュアップ：1回
ボランティア育成	イベントや講座等でボランティアの機会を提供し、運営の手伝いをする人材の育成(大学生ボランティアなど)	<ul style="list-style-type: none"> かえっこバザールを大学生が中心に担う 環境基本計画勉強会のお手伝いも 	<ul style="list-style-type: none"> 大学生ボランティアの募集：3回(eco-Tフェスタ2012、井郷サマーフェスタ、EX会キッズルーム)
インターン	エコ人やeco-Tで活動したい人の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> 市役所(環境部)のインターン生をeco-Tでも受入。会議記録作成などの体験。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知大学、富山県立大学より各1名
地域インタープリター	昨年度育成した交流館の環境配慮を伝える人材のステップアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 交流館ふれあいまつりへの協力(益富、猿投台)
エコライター育成	昨年度立ち上げた豊田市環境学習情報サイト「hibico」の取材・記事作成をする人材育成 *H24環境学習Web更新業務で実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度は活動手引き(マニュアル)を制作し、記者3名をOJTで育成 平成25年度は2名追加、同様にOJTしながら記事の更新 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度記事更新数17本(テーマ)53記事 平成25年度は隔週程度、合計30本を更新予定(5月までに4本) 課題を把握して次年度の運用改善

2. 環境学習等への支援、連携事業

(1) 環境イベント等への企画・運営支援、ブース出展

イベント出展での楽しいエコ体験を通して、より多くの市民にエコライフへのきっかけを提供すること、インタープリターを中心とした市民ボランティアが、地域で楽しくエコライフを伝えること、eco-Tの講座や主催行事のPRを行い、参加者の増加につなげることを目的に企画・運営支援やブース出展を行った。

〔対応方針〕

- ・ イベント主催者の要望に応じて、ねらいを設定し、出展内容を企画、提案、調整、実施する。
- ・ 交流館祭は、7月中旬にアンケートを実施し、eco-Tからの出展希望と、交流館祭における環境配慮に関する調査を実施した。その結果を受けて各交流館と個別に内容を協議し出展した。
- ・ 事前に交流館祭出展メンバーを募り、事前説明会や出展備品の準備（パネル製作、工作の準備など）を行った。出展希望者は22人だった。

〔結果〕

- ・ 秋のイベントシーズンを中心に、合計35回のイベント出展を実施した。内訳は、交流館祭23回、みちなびとよた出展3回などであった。会場で直接対応した人数の合計は約4,600人、エコライフを伝えた人の数は家族4人と考えて4倍すると、およそ18,500人にのぼった。
- ・ 交流館祭では、地域の委員や小・中学生ボランティアと協力して出展を行うことができた。

〔内訳〕

① 交流館ふれあい祭のイベントごみ調査

イベントのごみの分別・減量化を調査したが、主催者側がごみ捨て場に分別回収の工夫があり、来場者への啓発も行っていった。当会として直接的にかかわることでごみの減量ができる会場はなかった。

② リユースイベント

〔かえっこバザールの開催〕

日時	出展先	出展内容など	人数 (およそ)
7月8日(日)	トヨタEX会弁論大会キッズコーナー	かえっこバザール、エコクイズ、新聞紙工作	140
7月14日(土)	井郷交流館 井郷サマーフェスタ	かえっこバザール	80

*こどもが中心に活動するイベントネタのひとつとして問い合わせが増えている。

交流館祭での実施の可能性もある。

〔新たなリユース〕

- ・ エコットフェスタ201(6/2)にてリユースひろばを開催 2013年度分実績
(持ち込み数:陶磁器類780kg、子ども服2543枚、本993冊 延べ人数316人)

*上限10点までの持ち帰り可能としていたが守られていなく、今後の開催の課題である。

③楽しみ要素のブース出展（交流館ふれあい祭、ふれ愛フェスタなど）

日時	出展先	出展内容など	人数 (およそ)
8月5日(日)	スマイル親子の日	トコ積み木、缶バッジ作り	200
9月23日(日)	若園交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作	257
9月29日(土)	とよた産業フェスタ	ごみ分別ゲーム、エコぬりえ *9/30は台風中止	230
9月30日(日)	崇化館交流館祭	省エネクイズ、牛乳パック工作	52
10月7日(日)	上郷交流館祭	ごみ分別ゲーム、省エネクイズ、牛乳パック工作	120
10月7日(日)	末野原交流館祭	ごみ分別ゲーム、省エネクイズ	197
10月7日(日)	豊南交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく	253
10月27日(土)	下山交流館祭	ごみ分別ゲーム、省エネクイズ、牛乳パック工作	222
10月27日(土)	オンリーワンまつり	缶バッジ作り	60
10月28日(日)	井郷交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作	89
10月28日(日)	高橋交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作	85
10月28日(日)	美里交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作	194
10月28日(日)	藤岡南交流館祭	分別ゲーム、牛乳パック工作、エコサイコロトーク	110
10月28日(日)	小原交流館祭	ごみ分別ゲーム、新聞紙エコバッグ作り	85
10月28日(日)	足助交流館祭	牛乳パック工作	100
11月3日(土)	旭交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく、牛乳パック工作	88
11月4日(日)	猿投北交流館祭	ごみ分別ゲーム、省エネクイズ、牛乳パック工作	123
11月4日(日)	朝日丘交流館祭	エコすごろく、牛乳パック工作	76
11月4日(日)	藤岡交流館祭	牛乳パック工作	33
11月4日(日)	梅坪台交流館祭	ごみ分別ゲーム、環境紙しばい	185
11月4日(日)	竜神交流館祭	ごみ分別ゲーム、牛乳パック工作	180
11月4日(日)	若林交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコ工作	160
11月4日(日)	猿投台交流館祭	ごみ分別ゲーム(*キット貸出のみ)	-
11月11日(日)	保見交流館祭	牛乳パック工作	79
11月11日(日)	益富交流館祭	省エネクイズ、エコサイコロトーク、缶バッジ作り	190
11月18日(日)	稲武交流館祭	ごみ分別ゲーム、エコすごろく	72
12月8日(土)	みちなびとよた	トコ積み木	50
1月12日(土)	みちなびとよた	オリジナルエコバッグ作り	64
2月2日(土)	みちなびとよた	缶バッジ作り	51
2月3日(日)	東邦ガス	トコ積み木(ガスエネルギー館)	150

(2) 豊森なりわい塾 講座運営支援

山里で自然の恵みに根ざしたなりわいで生きていきたい人、まちに暮らしながら山里とのつながりの中で生きていきたい人のための塾です。豊田市、トヨタ自動車株式会社、(NPO)地域の未来・志援センターの三者で運営しています。

2期の運営に対して、講座の準備・運営、豊田市や地域への橋渡しの支援を行いました。なお、豊森なりわい塾への支援については今期で一旦終了として、今後は要請に応じた支援を行います。

〔略 歴〕

第1期 2009年5月～2010年3月

第2期 2010年4月～2013年3月

第3期 2013年6月～2014年3月(現在進行形)

〔支援内容〕

- ・事務局会議への参加(毎週月曜日)
- ・カメラや議事録、機材設置などの運営支援(毎月第3土日)

(3) とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム 事務局運営支援

2011 年度より愛知県地球温暖化防止活動推進センターや豊田市、商工会議所青年部を初めとする関係者と協働して「とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム」を組織し、小規模事業者の省エネ・エコ活動の推進を支援しています。

今年度は、登録した事業所を「さんしゅう ECO 倶楽部」と称して、登録事業所の拡大やエネルギーの見える化と削減アドバイスの実施や意見交換会を開催します。

省エネ拠点を当団体事務所に設置し、事務局の運営全般を支援しています。

〔2012 年度事業〕

- ①「ECO 事業所省エネ推進連絡会」の組織化と ECO 事業所の拡大
- ②登録事業所の ECO 活動
- ③ECO 事業所省エネアドバイザー（ECO バイザー）の研修と活動
- ④職員参加型運用改善省エネ詳細診断の実施
- ⑤節電商材の共同購入（当初計画に追加）／P11 に詳細を記す
- ⑥コンソーシアム会議の開催
- ⑦低炭素杯への出場

〔主な成果〕

- ・CO₂ 削減実績 5 月から 1 月までのおよそ 9 ヶ月の取組みで、前年に比べおよそ 44.6t（削減率 1.3%）の CO₂ を削減した。（2011 年度は約 3%削減）
- ・温暖化防止取組みの全国大会「低炭素杯 2013」にエントリーし、全国の 1,371 団体のうち 40 団体のファイナリストに選出されプレゼンテーションを行った。また、出場したことを市長にも報告した。

(4) とよた環境学習・環境活動支援拠点の運営

当団体の事務所を活用して、地域の環境学習ならびに環境活動を支援する取り組みを始めようと準備を進めてきましたが、管理方法やシェアオフィス入居団体規則などが定まらず、拠点の運営に至っていません。現在は、とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアムが設置する省エネ拠点、中心市街地で行う一過性のイベント（いなかとまちの文化祭）の拠点、環境学習情報サイト「hibico」の打合せなどに限った利用を行っています。

(5) 各種協議会等への参加

要請に応じて、協議会等に参加します。

- ・愛知県環境学習施設等連絡協議会
- ・豊田市環境学習連携会議
- ・とよた市民活動センター運営委員
- ・「ごみの発生抑制」に関する市民活動団体と行政との意見交換会への参加 ほか

(6) ESD に関する勉強・意見交換会の実施／計画追加

2014 年秋に「ESD ユネスコ世界会議」が開催されます。豊田市では、ESD に関連した取組みは、

2008年2月にとよたESD分野連携ワークショップ「分野を超えて、新・プログラムを作ってみよう！」が行われた限りです。

ESD キャッチフレーズの最優秀賞作品「未来を創るわたしを育むESD」は、豊田市の小学校の先生が応募した作品です。また、市内でもユネスコスクールに申請・認定を受けている学校もあり、ESDに取り組みたいが、どんなことに取り組みばいいかわからないと言った声も聞こえてきました。

〔開催概要〕

- ・講師 新海洋子さん（中部ESD拠点 運営委員、EPO中部チーフプロデューサー）
- ・参加者 15名（小学校の先生、高校の先生、環境学習施設職員、豊田市職員）

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

（1）緑のカーテン普及事業

昨年に引き続き、イベントで緑のカーテンのPRと苗の配布、緑のトンネルを設置しました。苗は採取した種からメンバー自らが育苗したものを持ち寄っています。

今年は、eco-T外周にある植栽の葉っぱが虫害により丸坊主になり、一部枯れました。原因は、育成植物に配慮して消毒作業を控えたためのようなのです。関係部署にお詫び・相談した結果、消毒作業を本来の通り行うことで、今年度も緑のトンネルと行う許可をいただきました。

ミニ冊子の改訂や他団体との連携は、実施体制が整わず取り組むまでには至りませんでした。

（2）リユースイベントの地域展開

子どものおもちゃの交換イベント「かえっこバザール」を交流館等で展開し、リユース文化の醸成を図ります。また、eco-Tで「くるっと文庫」を復活させて書籍の交換を行うなど、新たなリユースのしくみづくりを行いました。

イベント名（日程）	内容
井郷サマーフェスタ（6/30）	交流館イベントへの出展。カエルポイントを発行するワークショップやかえっこのスタッフは、地域の方が行った。
トヨタEX会弁論大会（7/7）	キッズコーナーのメインの出し物として出展
ふれ愛フェスタ（5/26）	中心市街地一帯で行われたイベント会場に出展
エコットフェスタ2013（'13/6/2）	リユースひろばの一角にて「ミニかえっこバザール」を開催

（3）地産地食・地域活性化の推進

イベント開催等の機会を利用して、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売することで、交流を図り、地産地食の推進や障がい者の就労支援など、自分が暮らす地域を自分が（買い）支えることの大切さをPRしました。

イベント名（日程）	内容
いなかとまちの文化祭（2/17）	いなかのよさを中心市街地でPRしようというイベント。農産物、加工食品やクラフト体験など農山村を舞台に活躍している施設など約30店の出展があった。
エコットフェスタ2013（'13/6/2）	6周年イベント。屋外のブースにて、豊田市産の食材にこだわった加工品や足湯などの出展を関係団体に依頼した。

(4) 節電商材の共同購入

さんしゅう ECO 倶楽部登録事業者向けに、「直管形 LED ランプ搭載器具の共同購入キャンペーン」を実施しました。これは、空調に次いで消費電力の多い照明器具（4 分の 1）の省エネを促進させる取り組みです。

いくつかの事業所がまとまって発注するところで商品単価、工事費用を下げようという試みで、商工会議所青年部に所属する電気工事会社「豊田電気マン倶楽部」の協力のもとおこなわれました。

〔概要〕

- ・従来の二灯式の蛍光灯（85W）を、LED 照明（41W）に交換すると約 50%の節電

〔募集期間〕

- ・2012 年年 10 月 1 日（月）～12 月 15 日（土） *施工は 2013 年 2 月に実施。

〔結果〕

- ・2 事業所、165 台を導入することができた。

4. 調査研究、政策提言事業

各種委員会やシンポジウム等への参加を通じて、市民の環境行動の促進や環境まちづくりの推進に向けた情報収集ならびに展開が可能な事業の試行を試みます。

(1) 活動者を増やす試み研究会

実践的な活動者を育成することが必要だとして計画をしましたが、人的、資金的な課題で開催できませんでした。「活動者を増やすこと」については、地域の課題ですので、引き続き検討します。

(2) 現在、参加している取り組み

- ・豊田市環境審議会
- ・とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム（中小事業所の省エネ活動の促進）
- ・千年委員会（豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換）
- ・地域再生実践塾（全国の自治体職員を対象にした共働によるまちづくりの研修）
- ・平成 24 年度あいち観光まちづくりゼミ（新たな観光資源＝着地型観光を企画・試行する）
- ・（仮称）おんぱく手法を使った中心市街地のまちづくりワークショップ（観光プログラム企画）

(3) 豊田市環境基本計画後期重点プロジェクトパブリックコメント勉強会の開催／計画追加

豊田市では、平成 20 年に環境基本計画、地球温暖化防止行動計画及び一般廃棄物処理基本計画を策定していますが、関心を持つ市民は多くありません。この先 5 年間の環境基本計画後期重点プロジェクトを策定する審議会が開かれ、素案に対して意見募集の機会（パブリックコメント）が設けられました。

この機会に、市民と行政をつなぐ（共働）場づくりとともに、市民の関心を高め、当事者として施策を学び意見を提案するための勉強会を開催しました。

なお、このときの様子を報告書としてまとめ、いただいた意見を 15 に集約して豊田市に提出しました。

①日時とテーマ（社会像）

第1回	2012年 12月22日（土）	13:00 ～16:30	3つの社会像について （低炭素社会、自然共生社会、循環型社会）
第2回	2013年 1月8日（火）	10:00 ～12:00	豊田市から取り組む地球温暖化防止 （低炭素社会）
第3回	2013年 1月9日（水）	10:00 ～12:00	循環型のライフスタイル・産業活動への転換 （循環型社会）
第4回	2013年 1月10日（木）	10:00 ～12:00	豊かな自然環境との共生 （自然共生社会）

②場所

とよた Ecoful Town（元城町3-11） パビリオン内研修室

③参加者数

第1回	第2回	第3回	第4回	のべ合計	実数
23名	14名	10名	17名	64名	37名

[参考] 単発参加者 21名 2回参加 8名 3回参加 5名 4回参加 3名

5. 情報発信事業

（1）環境学習 Web の更新

昨年度に引き続き、豊田市環境学習サイトの制作・更新を行いました。

区分	
とよたエコファミリー制度 ポータルサイト	エコファミリーの環境行動（意識調査）と昨年と今年の電気使用量の比較サイトを制作しました。2013年7月、12月に運用予定。
hibico	平成24年度は17本をアップ。 花粉症の季節には、アロマ関係の記事がヒットし400人/日アクセスを超える日もありました（通常は200人/日前後）
エコフルタウン	管理を環境モデル都市推進課ならびにエコフルタウン運営会社に移行しました（今後は業務対象外）。
私たちがごみのゆくえ	閲覧ターゲットがエコットに来る先生や児童であるため、エコットのHPに併合し、コスト削減と利便性の向上を図りました。

（2）団体の情報発信の充実

①季刊エコびとの発行

号	発行日	主な記事
8	2012年9月	・ 総会&映画「幸せの経済学」上映報告 ・ 地域に広がり♪かえっこバザール ・ 緑のカーテン収穫祭

		<ul style="list-style-type: none"> ・直管形LED ランプ搭載照明器具共同購入準備中！ ・会員突撃インタビューとよたのまちネタ「アユ食べて、川に親しむ「感謝祭」 ・4年目を迎えた「エコットキッズタウン」
9	2013年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・辰巳 渚さん講演会 ・直管形LED ランプ搭載照明器具共同購入キャンペーン報告 ・会員突撃インタビュー ・とよたのまちネタ 地元のジビエを食べて、農山村を守ろう ・環境基本計画「後期重点プロジェクト」に意見提案しましたか？ ・「ちょっと気になること」～消えた？ エコ年賀状～
10	2013年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「マイナス6%」はどうなった？ ・会員突撃インタビュー ・とよたのまちネタ 松平交流館近くの「ヤドリギ群落」 ・eco-Tの24年度をふりかえる

②ホームページの設置

当会ホームページ、さんしゅう ECO 倶楽部といった独自の情報発信が必要なプロジェクトのホームページの作成を行いました。

- ・とよたエコ人プロジェクト <http://t-ecobito.jimdo.com/>
 - ・さんしゅう ECO 倶楽部 <http://sansyuueco.jimdo.com/> *2013年度実績
- *2012年度はとよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアムとして行っていた取り組み

③会員 ML の設置

2012年10月運用開始 60件の情報提供（毎月10件弱）

メールアドレス〔t-ecobito@googlegroups.com〕から配信され、件名に〔エコ人 P「番号」〕と、表示されています。

メールが届いていない方は事務局までご自身のメールアドレスをご連絡ください。

(3) シンポジウム等の開催

2011年度定期総会（7/11）にて、映画「幸せの経済学」の上映を行いました。

東日本大震災と原発事故の影響で、これからの時代を考える話題の映画だけでなく、GNH、持続可能性、ecology などの関心の高い方の参加がありました。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

6月1日、旧清掃工場の解体工事の終了に伴い、1年5か月におよび一般来館及び施設利用の休止期間を終え、利用を再開しました。利用状況は休止前の状態に戻りつつありましたが、工場跡地の整備工事が引き続き開始され、利用者への駐車場の台数制限などがあり、年間の来館者数は16,916人とどまりました。ま

【参考】旧清掃工場解体工事年表

2011年1月解体工事準備（利用制限）
 2011年4月解体工事着手
 2012年3月解体工事工期延長決定
 2012年5月解体工事終了
 2012年6月一般来館・施設利用再開
 2012年8月旧工場跡地整備開始
 ならびに駐車場利用制限
 2013年3月駐車場利用制限解除・拡大

た、近年、学校以外の見学団体の数は年々減ってきており、自治区や他団体へ利用を積極的に呼びかけていくことが課題です。

一方で、子育てサークルからの利用のニーズは高く、子どもの成長によって団体の新陳代謝も行われており、継続的な利用が見込まれます。エコライフ講座やミニワークショップなど、幼児から参加できる企画にも力を入れ、親子連れへのアプローチができました。

環境学習を進める他施設との連携も深まりました。昨年度に引き続き、期間展示の会場として市自然観察の森ネイチャーセンターの1階ロビーをお借りしました。また、環境モデル都市推進課主催の「3施設をめぐるスタンプラリー」では、eco-Tでも200枚を超える台紙を発行し、とよたエコフルタウン・市自然観察の森・eco-Tという、先進の環境技術・自然系・生活系を学ぶ3つの環境学習の場を組み合わせ、PRすることができました。

学校での環境学習を推進する事業としては、出前授業のニーズが年々高まっています。今年度は、のべ33校から依頼を受けました。4年目を迎えたくらしの環境学習推進事業（12校）、4年生後期向け（2校）、5・6年生向け（6校）、3年生向け（9校）、その他（4校）の対応をしました。授業の内容を具体的にメニュー化することで、先生方が授業で取り入れやすい工夫をしています。中には、年間のサポートを相談されるなど、今後もeco-Tの役割が期待されています。

地域への啓発としては、各交流館のふれあい祭りに、これまでで最大の23か所に出展しました。にぎやかなお祭りの中でも市民がブースに立ち止まり、ごみの分別ゲームやリサイクル工作、省エネクイズなどに気軽に参加していただくことができました。

運営する事務局の体制では、開館初期から現場の責任を担ってきた前事務局長が相談役に回り、豊田市民の新事務局長に交代しました。これまでに培ったノウハウや経験を引き継ぐ形で運営できたため、大きな混乱はなく、順調に一年間、事業を執り行うことができました。活動者（インタープリター）の経験も増え、どの活動についても安定した成果が出ている一方で、「主張」や「こだわり」といった個人の考えが表面に出てくるようになりました。また一部で、インタープリター・行政・NPOの3者間でのコミュニケーション不足と考えられる状況も見られました。

eco-Tの運営会議や展示制作ワークショップ、市民会議は、市民参画の根源ともいえる活動ですが、参加メンバーが固定化してきています。積極的にかかわりたい人を中心に物事が進む状況では、市民目線から離れていくことも危惧されます。もう一度、初心に戻って、環境問題に関心のない世代、家族、個人に対して、難しい知識を伝える施設ではなく、一緒に取り組める、自分のくらしを見つめ直すきっかけをつくる等、eco-Tが市民にとって、常に気軽に立ち寄れる施設であり続けられるよう、努めたいと思います。

開館7年目を迎える次年度は、来館者用駐車場が倍の広さになる等、周辺の状況が整い、いろいろなことにチャレンジできる年です。市民・行政・NPOの3者で知恵を出し合い、より市民のニーズに沿った事業を進めていきます。

～平成23年度年次報告書より引用

7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

缶バッチ、エコバッグの販売（実費程度の請求）

【法人運営】

1. 会員

当会の活動に賛同し一緒に活動してくれる仲間を募りました。

種別	目標	2012 年度末	2010 年度	2011 年
正会員	30 名	25 人	24 人	22 人
賛助・学生会員	70 名	44 人	29 人	31 人
賛助・団体会員	—	2 団体	1 団体	1 団体

2. 寄付等

イベントなど、機会あるごとに法人の運営資金や市民活動等への寄付を募りました。

- ・寄付金額 26,906 円
- ・活動助っ人座へ協賛金支出（昨年は当会が寄付受取団体でした）

3. 会議の開催

(1) 通常総会

豊田市福祉センターにて実施（7/21）。同時に、映画「幸せの経済学」の上映会と意見交換会を開催

(2) 理事会

月に1回程度開催し、中期ビジョンの策定や新規事業づくり、運営上の課題等についての話し合いを行いました。

4. 理事・職員研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が参加できるよう、情報を収集し、参加を促進します。

〔視察研修、講座等への参加一覧〕

日時	会場	研修会のタイトル等	人数
6月23日（土） 15:50~17:50	つながれっと NAGOYA	働くことと生きること	1
7月22日（日） 13:30~16:00	岡崎市図書館交流プラザ Libra	NPO ちょこっと先輩★経験談 （岩尾憲治さん）	1
7月26日（木） 18:30~21:00	東桜会館	NPO ちょこっと先輩★経験談 （河村槇子さん）	1
8月18日（土） 9月11日（火） 10月1日（月） 11月8日（木） 2月5日（火） 10:00~17:00	ワークライフプラザれあろ せきれいホール 岡崎市図書館交流プラザ Libra	めざせ NPO の星！ステップアップ研修	1

8月6日(火) 10:00~17:00	中産連ビル	時間内に結論を導き出せる 「会議ファシリテーター」養成研修	1
9月20日(木) 13:00~16:30	キャンパスプラザ京都	市民活動の未来を拓くセミナー 地域の事業者の協力を引き出した事例	1
9月28日(金) 10:00~17:00	電通中部支社	電通+NPO 広報力向上委員会 「伝えるコツ」を身につけよう	2
10月15日(月) 13:00~16:30	京エコロジセンター	市民活動の未来を拓くセミナー 仲間を増やした事例	2
12月22日(土) 9:30~12:00	名古屋市芸術創造センター	がんばらないチラシづくり	1
3月2日(土) 9:30~17:00	龍谷大学深草キャンパス	京都・環境教育ミーティング	1
3月28日(木) 13:30~16:00	とよた市民活動センター	市民活動初級講座 市民も担う新しいまちづくり	1

以上

第2号議案 2012年度収支決算 (期間 2012年6月1日～2013年5月31日まで)

1. 活動計算書(二期比較)(案)

(単位:円)

科目	2012年度		2011年度		備考(2012年度)
I 経常収入					
1 会費収入					
・正会員会費収入	250,000		220,000		正会員10,000円×25名
・賛助会員(個人)会費収入	48,000		58,000		賛助会員(個人)44名、1,000円×48口
・賛助会員(団体)会費収入	21,000	319,000	21,000	299,000	賛助会員(団体)2団体、3,000円×7口
2 事業収入					
・環境学習事業	0		477,500		
・環境学習等への支援・連携事業	3,497,288		905,111		省エネコンソーシアム、豊森なりわい塾、環境イベント等出展など
・環境配慮型商品等の普及促進事業	60,000		60,000		パッションフルーツ苗
・情報発信事業	2,962,400		8,400,000		環境学習WEB、映画会開催
・環境学習施設等の管理運営事業	42,800,000		41,580,000		豊田市環境学習施設eco-T
・その他の事業	78,200	49,397,888	0	51,422,611	缶バッジ、エコバッグ
3 受取助成金	0	0	0	0	
4 寄付金収入	26,907	26,907	40,000	40,000	
5 その他収入					
・受取利息	2,088		1,858		
・雑収入	480	2,568	262,559	264,417	配当金
経常収入合計		49,746,363		52,026,028	
II 経常費用					
1 事業費					事業運営に関する費用
1) 人件費					豊田の環境学習施設eco-T(9名)、環境学習WEB(1名(兼務)など 賞与含む
・給与手当	21,975,923		18,434,428		
・法定福利費・通勤費	3,226,876		2,366,485		
・アルバイト給与	495,000	25,697,799	572,205	21,373,118	講演アホバ(費用)、学習コーディネーター費用、環境学習WEB教材など 事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分して計上
2) その他経費					
・通信費	489,898		60,140		
・水道光熱費	199,676		7,875		グリーン電力など
・旅費交通費	6,481,818		4,158,115		インタープリター交通費など
・広告宣伝費	1,292,808		1,795,184		イベントチラシ、eco-T通信など
・会議費	123,094		67,365		
・事務用品・消耗品費	1,135,665		995,693		
・講座・イベント等材料費	490,380		482,662		
・新聞図書・展示用品費	687,295		689,790		新聞・雑誌購読料、参考図書など
・リース料	543,000		529,200		業務車両リースなど
・修繕費	200,986		204,855		備品修繕など
・地代家賃	1,852,200		0		
・保険料	92,280		80,960		ボランティア保険、行事保険
・租税公課	1,189,902		30,000		消費税など
・諸会費	57,820		0		
・福利厚生費	297,348		183,635		
・報酬	784,400		975,075		チラシなどデザイン、講師謝金など
・支払手数料	1,842,020		38,944		ごみ処理手数料、振込手数料など
・外注加工費	1,565,490		6,469,890		環境学習WEB制作、省エネコンソーシアムLED工事
・材料仕入高	2,190,105		0		省エネコンソーシアムLED
・雑費	3,000	21,519,185	0	16,769,383	
2 管理費					運営、広報、経理、労務等に関する費用
1) 人件費					人件費分は従事割合により按分 賞与含む
・給与手当	2,783,450		4,429,000		
・法定福利費・通勤費	586,812	3,370,262	251,874	4,680,874	事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分して計上
2) その他経費					
・通信費	8,623		17,880		
・水道光熱費	3,648		8,738		
・旅費交通費	1,687		75,310		
・広告宣伝費	996		46,000		環境カレンダーなど
・接待交際費	8,500		0		お祝いのお花
・会議費	783		6,180		
・事務用品・消耗品費	9,752		200,780		事務所棚、消耗品など
・新聞図書費	2,402		3,934		
・修繕費	714		367,550		
・地代家賃	37,800		562,500		事務所家賃
・租税公課	23,848		3,930		消費税など
・諸会費	1,180		21,000		中部リサイクル運動市民の会、自治会費
・福利厚生費	2,119		75,476		健康診断など
・支払手数料	26,219		1,323,112		IT、総務(経理・労務)支援、振込手数料など
・支払利息	5,514		7,246		
・雑費	5,000	138,785	0	2,719,636	
3 法人税、住民税および事業税	54,560	54,560	1,779,840	1,779,840	
経常費用合計		50,780,591		47,322,851	
III 正味財産増減の部					
当期正味財産増減額		△ 1,034,228		4,703,177	
前期繰越正味財産額		8,987,909		4,284,732	
次期繰越正味財産額		7,953,681		8,987,909	

●経常費用の部分別内訳

(単位:円)

科目	環境学習等への 支援・連携事業	環境配慮型商品等 の普及促進事業	調査研究・ 政策提言事業	情報発信 事業	環境学習施設等の 管理運営事業	その他の事業	管理部門	合計
1 事業費								
1) 人件費								
・給与手当	209,050	0	0	1,001,630	20,765,243	0	0	21,975,923
・法定福利費・通勤費	29,957	0	0	137,804	3,059,115	0	0	3,226,876
・アルバイト給与	0	0	0	177,000	318,000	0	0	495,000
人件費計	239,007	0	0	1,316,434	24,142,358	0	0	25,697,799
2) その他経費								
・通信費	36,997	0	0	22,195	430,706	0	0	489,898
・水道光熱費	12,762	0	0	9,116	177,798	0	0	199,676
・旅費交通費	94,078	0	0	54,213	6,333,527	0	0	6,481,818
・広告宣伝費	37,086	0	0	2,490	1,253,232	0	0	1,292,808
・会議費	2,734	0	0	2,812	117,548	0	0	123,094
・事務用品・消耗品費	89,478	0	17,112	28,543	1,000,532	0	0	1,135,665
・講座・イベント等材料費	0	52,500	0	0	359,680	78,200	0	490,380
・新聞図書・展示用品費	8,401	0	0	6,000	672,894	0	0	687,295
・リース料	0	0	0	13,800	529,200	0	0	543,000
・修繕費	2,499	0	0	1,785	196,702	0	0	200,986
・地代家賃	132,300	0	0	94,500	1,625,400	0	0	1,852,200
・保険料	0	0	0	0	92,280	0	0	92,280
・租税公課	83,464	0	0	60,617	1,045,821	0	0	1,189,902
・諸会費	4,130	0	0	2,950	50,740	0	0	57,820
・福利厚生費	7,410	0	0	5,292	284,646	0	0	297,348
・報酬	0	0	0	0	784,400	0	0	784,400
・支払手数料	91,761	0	0	123,043	1,627,216	0	0	1,842,020
・外注加工費	499,740	0	0	1,065,750	0	0	0	1,565,490
・材料仕入高	2,190,105	0	0	0	0	0	0	2,190,105
・雑費	0	0	0	0	3,000	0	0	3,000
その他経費計	3,292,945	52,500	17,112	1,493,106	16,585,322	78,200	0	21,519,185
2 管理費								
1) 人件費								
・給与手当	0	0	0	0	0	0	2,783,450	2,783,450
・法定福利費・通勤費	0	0	0	0	0	0	586,812	586,812
人件費計	0	0	0	0	0	0	3,370,262	3,370,262
2) その他経費								
・その他経費	0	0	0	0	0	0	138,785	138,785
その他経費計	0	0	0	0	0	0	138,785	138,785
3 法人税、住民税および事業税								
・法人税等	0	0	0	0	0	0	54,560	54,560
合計	3,531,952	52,500	17,112	2,809,540	40,727,680	78,200	3,563,607	50,780,591

2. 貸借対照表（二期比較）（案）

2013年5月31日現在

（単位：円）

科目・摘要	2012年度		2011年度		備考(2012年度)
I 資産の部					
1 流動資産					
現金	372,107		640,791		
普通預金	14,794,327		18,414,732		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫、ゆうちょ銀行
売掛金	0		92,000		
未収金	0		21,000		
前払費用	157,500		215,000		事務所家賃
立替金	187,028		7,480		
流動資産合計		15,510,962		19,391,003	
2 固定資産	0		0		
固定資産合計		0		0	
3 投資等					
保証金	450,000		450,000		事務所保証金
出資金	10,000		10,000		豊田信用金庫
投資等合計		460,000		460,000	
資産合計		15,970,962		19,851,003	
II 負債の部					
1 流動負債					
買掛金	204,934		567,598		事務用品、HP更新費用など
未払金	2,675,897		3,646,290		5月分給与、社会保険、ボランティア交通費など
前受金	3,484,000		4,372,000		豊田市環境学習施設eco-T、会員会費
預り金	397,650		520,866		社会保険、源泉所得税、住民税
未払い法人税等	71,000		1,756,340		
未払い消費税等	1,183,800		0		
流動負債合計		8,017,281		10,863,094	
2 固定負債	0		0		
固定負債合計		0		0	
負債合計		8,017,281		10,863,094	
III 正味財産の部					
前期繰越正味財産		8,987,909		4,284,732	
当期正味財産増加額		-1,034,228		4,703,177	
正味財産合計		7,953,681		8,987,909	
負債および正味財産合計		15,970,962		19,851,003	

3. 財産目録（二期比較）（案）

2013年5月31日現在

（単位：円）

科目・摘要	2012年度		2011年度	
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金 現金手許有高	372,107		640,791	
普通預金 三菱東京UFJ銀行 豊田南支店	2,213,294		2,209,350	
普通預金 豊田信用金庫 本店営業部	12,532,233		16,175,582	
普通預金 ゆうちょ銀行	48,800		29,800	
売掛金				
事業収入	0		92,000	
未収金	0		21,000	
前払費用	157,500		215,000	
立替金	187,028		7,480	
流動資産合計		15,510,962		19,391,003
2 固定資産	0		0	
固定資産合計		0		0
3 投資等				
保証金	450,000		450,000	
出資金	10,000		10,000	
投資等合計		460,000		460,000
資産合計		15,970,962		19,851,003
II 負債の部				
1 流動負債				
買掛金				
事業費(事務用品費・広告宣伝費・支払手数料)	204,934		567,598	
未払金				
給与手当	1,703,994		1,760,055	
賞与	0		979,041	
法定福利費・通勤費	311,096		270,025	
事業費(交通費など)	488,000		267,079	
管理費(通信費・支払手数料(IT・総務支援))	172,807		370,090	
前受金				
事業収入	3,465,000		4,372,000	
会員会費	19,000			
預り金				
社会保険料	234,960		301,015	
雇用保険料	0		18,992	
源泉所得税	109,290		163,259	
住民税	53,400		37,600	
未払い法人税等	71,000		1,756,340	
未払い消費税等	1,183,800			
流動負債合計		8,017,281		10,863,094
2 固定負債	0		0	
固定負債合計		0		0
負債合計		8,017,281		10,863,094
正味財産		7,953,681		8,987,909

※財務諸表の注記

財務諸表は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日・NPO 法人会計基準協議会）によっています。

・消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

・共通経費の按分方法

事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分し、事業費等の内訳に計上しています。

4. 監査報告

2012 年 6 月 1 日から 2013 年 5 月 31 日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正であることを認めます。

2013 年 7 月 30 日

監事

石村正行



第3号議案 役員の改選について

定款第4章16条により、役員の任期は2年と定められており、2013年第5回通常総会の終了をもって全役員の任期が終了します。

これに伴い、理事会より2013年8月26日から第7回通常総会（2015年8月開催予定）までの理事、監事を以下のように提案しますので、承認をお願いします。

1. 理事候補

氏名	所属・役職・略歴	新任／再任
岩月 桂子	略歴：2007年より豊田市環境学習施設 eco-T インタープリター	再任
坂本 竜児	略歴：2007年より豊田市環境学習施設 eco-T 運営事務局	再任
田上 治	略歴：2007年より豊田市環境学習施設 eco-T インタープリター	再任
長嶋 一枝	略歴：2007年より豊田市環境学習施設 eco-T インタープリター	再任
赤坂 洋子	略歴：2010年より豊田市環境学習施設 eco-T インタープリター	新任
横井 純夫	略歴：2011年より豊田市環境学習施設 eco-T インタープリター	新任

2. 監事候補

氏名	所属・役職・略歴	新任／再任
石村 正行	略歴：eco-T 市民参画メンバー、設立時より監事	再任
谷口 功	所属：椋山女学園大学人間関係学部人間関係学科 准教授 略歴：豊田市環境審議委員など	新任

*なお、小泉達也、松浦貴子、南谷五郎は、任期満了により退任します。

報告事項

1 2013年度事業計画（期間 2013年6月1日から2014年5月31日まで）

【事業活動】

1. 環境学習事業

（1）環境学習講座の実施

環境学習を実施しようとしている各種団体（小・中学校、高校、大学、企業、子ども会、自治区、行政など）向けに、出前講座や eco-T で学習プログラムを提供します。

今年度は、ごみ減量推進課と連携して自治区に PR を強化し、出前講座や来館者・見学団体の増加をめざします。また、「くらしの環境学習推進事業」は知名度もあがり、ニーズが高まっています。eco-T と学校の橋渡し業務（コーディネート）が多忙になってきたため、学習コーディネーターを増員しニーズにこたえやすい体制を整備します。

対象	目標
小・中学校、高校・大学、企業、子ども会、自治区・サークル、行政など、環境学習を実施しようとしている各種団体	eco-T 業務 25 件 eco-T 以外 5 件
ごみ減量推進課を通じた自治区への PR（当会の直接的な業務外）	未定
くらしの環境学習推進事業（小学 4 年生対象） （並行して学習コーディネーターを増員）	推進校 13 校・授業数 46 回
学校への環境学習の促進のため、出前授業や eco-T での環境学習（豊田市のバス等を利用して来館）を PR	小学 5・6 年生向け出前 15 校 小学 3 年生向け出前 7 校 eco-T での環境学習 6 校

（2）環境学習を推進する人材の育成

これまでに引き続き、eco-T のインタープリターや学習コーディネーター、豊田市環境学習サイト「hibico」の記者の育成を行います。また、活動者数と回数、質などを勘案して、経験年数に応じて、リーダー役やサポート役をお願いするなど適材適所のマネジメントを意識します。

学習会や研修、実際の活動を通じてレベルアップを図るとともに、交流の場をつくり経験の共有をはかります。

なお、2008 年（eco-T 設立翌年）から継続してきた「地域インタープリター制度（学校や交流館で出前授業やイベントを通して環境配慮を伝える人）」は、いったん休止をします。

項目	内容	目標
インタープリター増員	eco-T の展示解説や出前講座を担う人材	新規 10 名
インタープリテーションの充実	展示学習プログラムの活用、新しいプログラムの開発	展示学習プログラムの活用 2 件 新プログラム開発 1 件
学習コーディネーター増員	学校と eco-T の橋渡し役の人数を増やして、負担を減らす	3 名増（計 8 名）
学習コーディネータースキルアップ	くらしの環境学習推進事業のコーディネートを通して、学校のニーズに応える力を向上する。	基本メニューによる授業 4 プログラムのほか、先生の要望をより汲み取った応用プログラムの実施

ボランティア活動の機会提供	eco-T が主催・出展するイベントで大学生等にボランティアの機会を提供する。	機会提供 5回 ボランティア活動者のべ100名
インターン受入れ	エコ人や eco-T で活動したい人の受入れ	7名のべ8日
環境学習情報サイト「hibico」の記者育成	2012年6月1日から運用を開始した豊田市環境学習情報サイト「hibico」の取材・記事作成をする人材育成 *H25 環境学習 Web 更新業務で実施	2名増員（計5名） 年間36本の取材を予定
地域インタープリター	廃止	—

（３）豊田市環境基本計画など市の施策に関する学習会

豊田市との共働をもとに、環境学習、環境活動を促進していくために、豊田市の計画等を学ぶことが肝要です。

2012年12月、翌1月に環境基本計画のパブリックコメントに関心を持ってもらうことを目的に行った「環境基本計画後期重点プロジェクト勉強会」のような学習会を企画実施します。

（４）ESDに関する事業

「持続可能な開発のための教育（ESD）」の最終年が2014年、名古屋市と岡山県で「ユネスコ世界会議」が開催されます。それに合わせて、当会も「ごみを減らそう・CO₂を減らそう」といった環境学習から「持続可能な社会作りのための担い手の育成」という視点も踏まえた環境学習に取り組みたいと思っています。

2013年2月11日に行った意見交換会でも、

- ・豊田市ならびに教育委員会が力を入れられるように提案する
- ・豊田市内の先行事例の取り組みの見える化、PR
- ・ESDの推進を担い、支援する体制づくり（環境学習センター機能）
- ・情報交換や勉強会をする機会

といった意見が出されました。

まだ、明確な事業化はされていませんが、2014年が豊田市のESD元年になれるように、会員も巻き込んだ事業展開を実施したいと考えています。

2. 環境学習等への支援、連携事業

（１）環境イベント等への企画・運営支援、ブース出展

交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行います。要請に応じた実施ですので、目標値は定めませんが、本来業務に支障がない範囲で引き受けていきます。

- ① イベントの部分的なプロデュースや運営、ごみ減量・グリーン電力化に向けた提案
- ② リユースイベント（かえっこバザールなど）の地域展開や新しい催し物の開発
- ③ eco-T やエコ人のPRを主目的とした、楽しみの要素を中心としたブース出展

(2) さんしゅう ECO 倶楽部事務局運営支援

2011 年度より愛知県地球温暖化防止活動推進センターや豊田市、豊田商工会議所青年部を初めとする関係者と共働して「とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム」を組織し、小規模事業者の省エネ・エコ活動の推進を支援してきました。昨年度は、CO₂削減の全国コンテスト「低炭素杯 2013（会場：東京ビックサイト）」でプレゼンする機会も得ました。

今年度は、下記のような工夫をして、取り組み事業所数と削減量の増加を目指します。

<改善点>

- ・組織や取り組みをシンプルにし「さんしゅう ECO 倶楽部」とする
 - ・小規模な事業所でも取り組みやすい「電気」に絞る
 - ・すでに取り組んでいる事業所や小規模に限らない事業所も対象にする
 - ・活動マニュアルなどを整備しわかりやすい取り組みとする
 - ・今までの経験を活かして、省エネ診断の方法を①自社、②ウオークスルー診断、③計測診断とする
- なお、これまで「省エネ拠点」として当団体事務所に事務所を設置していましたが、今年から「さんしゅう ECO 倶楽部事務局」として継続します。また、これまで環境省の補助金により運営されてきましたが、活動の自立化も視野に入れて継続できる取り組みを検討します。

<事業内容>

- ・登録事業所の募集・管理
- ・事業所の省エネ活動促進
- ・省エネルギー診断
- ・LED 照明器具の共同購入*
- ・情報発信
- ・取り組みの自立化計画策定
- ・全体会、世話人会、勉強会等開催

*共同購入は「3. 環境配慮型商品等の普及促進事業（1）LED 照明器具の共同購入」事業に含む

また、低炭素杯出場ならびに結果報告を豊田市長に行った際に提案をいただいた「豊田市版低炭素杯（環境先進都市を加速する市民プロジェクト）」や「豊田市地球温暖化防止活動推進センター」の設置なども視野に入れた事業展開を進めていきたいと思えます。

(3) とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営

当団体の事務所を活用して、地域の環境学習ならびに環境活動を支援する取り組みを始めます。豊田市中心市街地には、とよた市民活動センターや図書館がありますので、支援内容は、オフィス機能を中心に整備、運営していきます。

なお、運営方針（考え方の整理）ならびにシェアオフィスの規定案を巻末に記しました。

(4) 各種協議会等への参加

要請に応じて、協議会等に参加します。

- ・愛知県環境学習施設連絡協議会
- ・豊田市環境学習施設連携会議 ほか

(5) その他

豊森なりわい塾やいなかとまちの文化祭といった都市や農山村のまちづくり講座やイベントなどの開催にあたって、当会の強みである eco-T や中心市街地に拠点があること、人的ネットワークを活用できるようにであれば、本来業務に支障のない範囲で支援を行います。

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

(1) LED 照明器具の共同購入

昨年度に、試行的に「直管形 LED ランプ搭載器具共同購入キャンペーン」を行いました。この経験をもとに、さらに省エネ・節電がすすむように、今年度も引き続き実施します。

今年度は、採用した LED ライトメーカーより①チラシの提供、②機器代金に共同購入事務局手数料を設定、③機器の説明に営業スタッフの派遣、という協力をいただけることになっています。

(2) 緑のカーテン普及事業

昨年度に引き続き、省エネにつながる「緑のカーテン」の普及啓発を行います。

- ・エコットフェスタでのPR、苗の配布ならびに設置相談
- ・eco-T で緑のトンネルの育成
- ・メンバー間の情報交換や試食会の開催など

(3) リユースイベントの地域展開

これまで開催してきた「かえっこバザール」に、もう一歩進めたリユースの促進を行います。

- ・かえっこバザールの開催（継続）
- ・かえっこバザールの地域展開（取り組みたい団体への支援）
- ・陶磁器、子ども服の交換会の開催（エコットフェスタ等で試行）
- ・くるっと文庫の活用（eco-T 内に継続）
- ・リユース工房（ごみ減量推進課）との連携、PR
- ・リサイクル堆肥「eco グリーン」との連携、PR

(4) 地産地食・地域活性化の推進

イベント開催等の機会を利用して、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売することで、交流を図り、地産地食の推進や障がい者の就労支援など、自分が暮らす地域を自分が（買い）支えることの大切さをPR します。

4. 調査研究、政策提言事業

各種委員会やシンポジウム等への参加を通じて、市民の環境行動の促進や環境まちづくりの推進に向けた情報収集ならびに展開が可能な事業の試行を試みます。

(1) 活動者を増やす試み研究会

より豊かで効果的な地域づくりを行うためには、環境学習のみでは効果がわかりづらい。もう一歩工

コライフを進めるためには、実践的な活動者を育成することが必要である。そこで、市民活動やコミュニティビジネスを担う活動者が、どのようにしたら生まれるのかを考え、その支援策を検討する研究会を開催する。

(2) 現在、参加している取り組み

- ・とよた市民活動センター運営委員
- ・とよた・あいち省エネで元気な事業所コンソーシアム（小規模事業所の省エネ活動の促進）
- ・(仮) とよたまち博ワークショップメンバー（まちなか宣伝会議）
- ・千年委員会（豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換）
- * 下記はいったん終了していますが、引き続き要請があれば参画します。
- ・あいち観光まちづくりゼミ（平成 25 年 3 月でいったん終了）
- ・豊田市環境審議会（平成 25 年 3 月終了）

5. 情報受発信事業

(1) 環境学習 Web の更新

昨年度に引き続き、豊田市環境学習サイトの制作・更新を行います。

設置サイト	今年度業務	備考
とよたエコファミリー制度 ポータルサイト	継続 エコファミリーの行動検証運用	・夏、冬でキャンペーン実施
hibico	継続 年間 30 本程度	・月 2～3 記事の更新 ・記者の増員、スキルアップ
エコフルタウン	業務外 (環境モデル都市推進課、運営団体)	—
私たちがごみのゆくえ	継続 教材としての活用	・eco-T の業務として実施

(2) 団体の情報発信の充実

引き続き団体の情報誌「季刊 えこびと」の発行（年 4 回予定）ならびに、団体 HP の運用、リーフレットの見直しやメーリングリストの運用など、会員に対する情報提供サービスを行います。

(3) シンポジウム等の開催

環境まちづくりに関連したテーマのシンポジウム・講演会を開催します。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

引き続き、豊田市環境部環境政策課より平成 25 年度豊田市環境学習施設 eco-T の運営を受託することができました。

25 年度は、駐車場の問題が解決し、広がったことで来館者の利便性が向上します。

あと3年で開館10年を迎えます。eco-Tができて何が変わったか評価できるように、「やりたい人がやる。でも、やりたい人だけでやらない。」、「環境問題に関心のない世代、家族、個人に対して難しい知識ではなく、一緒に取り組めることを見つけたり、自分の暮らしを見つめ直すきっかけになる」という初心に戻り、常に気軽に立ち寄れる施設であり続けられるように、務めていきます。

7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行います。また、必要な事業があれば行っていきます。

【法人運営】

1. 会員

種別	2012 年度末	目標	増減
正会員	25 人	30 名	+5 人
賛助・学生会員	44 人	70 名	+26 人
賛助・団体会員	2 団体	—	—

2. 寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、積極的に寄付を募ります。寄付先は、当会のみならず、東日本大震災関連や市内市民活動、豊田市低炭素社会推進基金など趣旨に合わせて寄付先を選定します。

3. 会議の開催

(1) 通常総会

8月25日（日）に、豊田産業文化センターにて、実施します。

(2) 理事会

月に1回程度開催し、中期ビジョンの策定や新規事業づくり、運営上の課題等についての話し合いを行います。

4. 理事・職員研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が積極的に参加できるよう、情報を収集し、参加を促進します。

2. 2013年度収支予測

(期間2013年6月1日～2014年5月31日まで)

科 目	金 額 (円)		備 考
I 経常収入			
1 会費収入			
1) 正会員会費	300,000		正会員30名
2) 賛助会員会費	76,000	376,000	賛助会員・学生会員60名、団体2
2 事業収入			
1) 環境学習事業	0		
2) 環境学習等への支援、連携事業	226,800		事務所シェア家賃
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	0		
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報受発信事業	2,500,000		環境学習WEB
6) 環境学習施設等の管理運営事業	41,580,000		豊田市環境学習施設eco-T(6～3, 4～5月)
7) その他事業	0	44,306,800	
3 寄付金収入	15,000	15,000	
4 その他収入			
1) 受取利息	1,800	1,800	
経常収入合計			44,699,600
II 経常費用			
1 事業費			
1) 環境学習事業	0		
2) 環境学習等への支援、連携事業	181,440		人件費
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	30,000		緑のカーテン雑費(資材、印刷費)
4) 調査研究、政策提言事業	100,000		
5) 情報受発信事業	2,250,000		環境学習WEB業務費用
6) 環境学習施設等の管理運営事業	33,630,000		豊田市環境学習施設eco-T運営費用
7) その他事業	0	36,191,440	
2 管理費			事業部門と管理部門に共通する経費の按分はせずに試算
1) 役員報酬	0		
2) 給料手当	3,411,600		法人運営
3) 福利厚生費	100,000		健康診断 等
4) 会議費	15,000		理事会12回、総会1回
5) 旅費交通費	70,000		
6) 通信費	232,800		電話・FAX料、事務所インターネット、サーバードメイン、郵送料 等
7) 事務用品・消耗品費	60,000		事務所消耗品費等
8) 水道光熱費	180,000		事務所水道光熱費
9) 地代家賃	1,914,000		事務所費、駐車場代
10) 諸会費	62,000		自治区・商店街費、その他会費
11) 支払い手数料	237,200		IT、総務関係のサポート、振込手数料
12) 租税公課	1,100,000		収入印紙、消費税(簡易課税)
13) 雑費	0	7,382,600	
3 法人税、住民税および事業税	363,200	363,200	
4 予備費	0	0	
経常費用合計			43,937,240
当期収支差額			762,360
前期繰越収支差額			7,953,681
次期繰越収支差額			8,716,041

1. 掲げるミッション

①設立趣旨書より

現在、社会は環境問題をはじめとする様々な課題を抱え、地に足のついたビジョンを描くことの難しさに直面しています。

豊かな未来をつくるためには、一人ひとりが自分たちの価値観やくらしを見直し、「未来へとつながる現在」を生きる自覚と責任を持って行動していくことが必要不可欠であると考えます。そのため私たちは、参加体験型の学習活動を展開し、自ら感じ、考え、行動することのできる人づくりを進めます。

また、情報の収集発信、調査研究や政策提言、環境配慮型商品やサービスの普及促進などを通じて、市民、企業、行政の共働により、笑顔あふれる「エコライフとよた（持続可能な地域社会）」の実現に向けて行動します。

<私たちが思い描く「エコライフとよた」の姿>

- ・地域の資源を活かす社会
- ・安心、安全な衣・食・住のある社会
- ・地域の将来像を地域の人たちで描き出せる社会

②定款より

(目的)

第3条 この法人は、市民、市民団体、企業、行政、学校等に対して、環境に配慮した行動のできる人づくりや環境行動の実践普及促進、環境まちづくりの推進に関する調査研究、政策提言などの事業を行い、持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

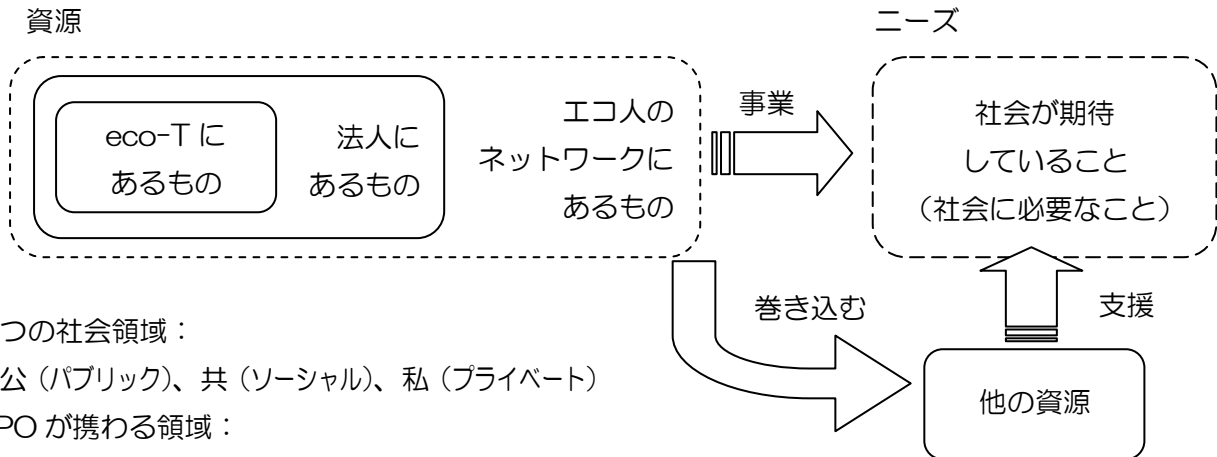
2. エコ人の機能（活動範囲）

第5条 事業

- (1) 市民、市民団体、企業、行政、学校等を対象とした環境学習事業
- (2) 環境学習や環境まちづくりを行う市民、市民団体、企業、行政、学校等への支援、連携事業
- (3) 環境配慮型商品、環境配慮型サービスの普及促進事業
- (4) 環境行動促進及び環境まちづくり推進に関する調査研究、政策提言事業
- (5) 市民の参加促進、環境行動促進のための情報受発信事業
- (6) 環境学習施設等の管理運営事業
- (7) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

3. 事業化のポイント

(1) 事業とは



3つの社会領域：

公（パブリック）、共（ソーシャル）、私（プライベート）

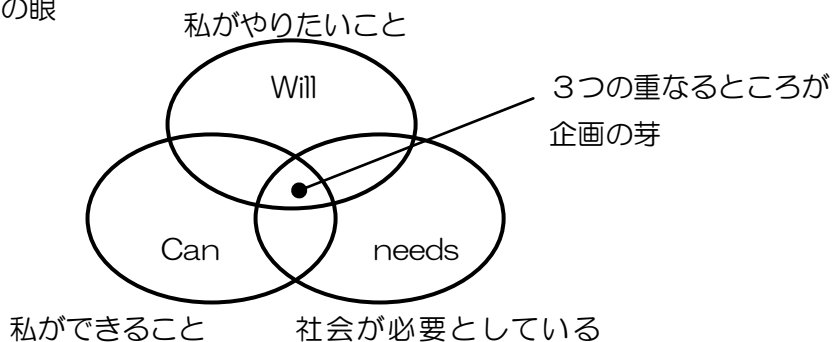
NPOが携わる領域：

共を解決する、取り戻す、私の集まりが共や公である

かかわる姿勢：「自らかかわる」とともに「主体的に関わろうとする意志」を引き出す

→「楽しいもの」「面白いもの」「格好いい（ステキな）もの」「ワクワクもの」＋「多少の覚悟」

(2) 企画の眼



4. 事業化基準、中期ビジョン策定のベース

①再び考える：NPOとよたエコ人プロジェクトは何をする団体か？

⇒エコライフに取り組む「ひと・こと（機会）」を増やす団体

- ・地域の資源を活かす社会
- ・安心・安全な衣食住エネルギーのある社会
- ・地域の将来像を、地域の人たちが描き出せる社会

〔参考〕eco-Tのコンセプト

- ・運営方針 私たちがつくる私たちの施設
- ・学習姿勢 気づきから行動へ
- ・目 線 市民が市民に伝える

②事業化判断基準

- ・プラス面（メリット） 成果や収入が見込めるか
- ・マイナス面（リスク） 信頼と資金を失わないか

*上記が納得したうえで、「体制」「スケジュール」「費用対効果」を検討する

③手段となるキーワード

学習、観光、自治、自給（共給）・ものづくり、SBCB、共働

5. シェアオフィスについて

1. 目的

NPO 法人とよたエコ人プロジェクトの事務所を、「豊田市や三河地域のエコライフを普及啓発していくための拠点」と位置付け、その目的に沿った事業を行う個人・団体のサポートやコーディネートのスペースとする。

2. 利用できるもの

- ①事務機
- ②フリースペース（オフィス機能）
- ③ミーティングスペース（数人での打合せ）
- ④インターネット（誰でも使える PC を設置）
- ⑤オフィス機器（パソコン、プリンター→先々複合機）
- ⑥電話・FAX
- ⑦書架
- ⑧給湯室、トイレ
- ⑨郵便ポスト

3. 利用区分

（1）エコ人の会員サービス（個人・団体）

- ・事務所がオープンしている時間帯（不定期）に、スタッフに迷惑かけない範囲で、無料で利用することができる。
- ＊個人的な活動ならびに別団体の事務所とする場合は除く。
- ＊消耗品などの実費は、利用に応じた寄付を依頼する

（2）事務所利用（シェアオフィス） シェア＝共有、共同利用

- ・目的に沿った個人・団体のみとする。エコ人の会員は問わず、別途入居ルールを設ける。
- ・契約を結んだうえで、鍵を渡し、原則自由に利用することができる
ただし、団体事務所とする場合は、パソコンや電話など自前で設置してもらう
- ・利用料金案（団体の運営状況を鑑みて、減免措置も行う）

利用頻度	料金（月）	備考
月に数日	1,000 円	ポスト利用程度
週に1～2日	5,000 円	専用机なし
週に3～4日	10,000 円	ほぼ常勤1名、専用机なし
常勤	30,000 円～	専用机あり

以上